

日本政策金融公庫守口支店での職員向け事業承継勉強会について

大阪府事業承継ネットワーク構成機関である日本政策金融公庫。同庫の支店では、事業承継支援に関する多数の勉強会を開催しています。そこで、日本政策金融公庫守口支店の吉川大輔融資第二課長に、支店で開く勉強会のねらいについてお話を伺いました。

●インタビューアー（センター事務局）

○吉川大輔融資第二課長

●事業承継に関する職員向け勉強会を開催されています。開催のねらいをお教え下さい。

○経営者の高齢化が進むなか、事業承継支援は地域で必要とされる事業を次世代につないで新たな成長を図る重要な取り組みです。目的の1つ目は当庫の職員の会話力の向上で、専門家の話を聞き理解する引き出しを豊富にすることです。2つ目はセンターの活動内容をしっかり理解し、当庫単独で解決できないようなものを適切にセンターに橋渡しすることです。



日本政策金融公庫
守口支店 吉川大輔
融資第二課長

●御支店のお客様は事業承継についてどのようにとらえているとお考えですか。

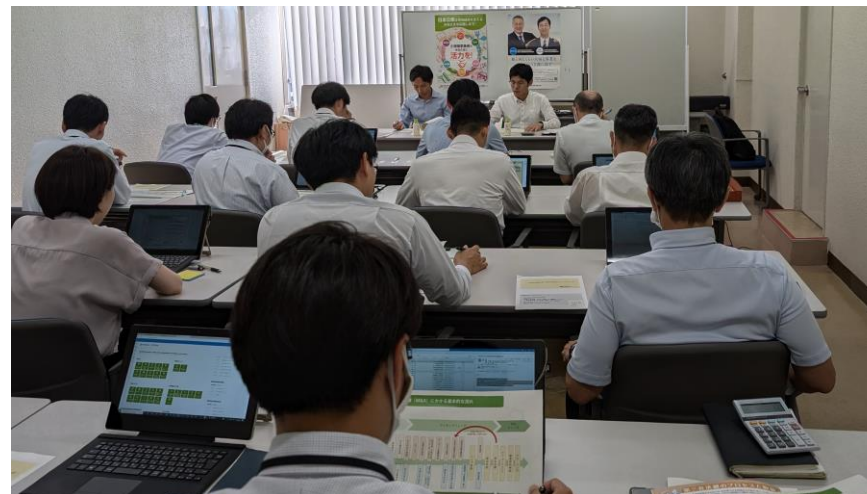
○後継者不在の企業が多く、事業承継を計画的に取り組んでいる企業も少ないように思います。こうした状況であるので、事業承継計画の策定や承継先の探索についての支援をしていきたいと考えています。

●事業承継支援に関して支店での役割や活動方針をお教え下さい。

○活動方針は以下の通りです。まず、当支店と取引のある60才以上の全ての経営者に対し事業承継診断を行い、事業承継への取り組みの重要性に気づいてもらいたいと思っています。次にその結果を踏まえて、支援ニーズにあわせた情報提供を適切に行っていきたいと思っています。さらに、必要と思われるお客様については、センターや外部専門家に適切に橋渡ししていききたいと考えています。

●御支店での勉強会は、どのような頻度で開催していますか。令和6年度になってから、大阪府内の支店で何回開催し、何人の職員が参加しましたか。

○守口支店では7月に初めて開催しました。今後も年に1～2回開催したいと思っています。8月末時点では、大阪府内の支店では全体で8回、90人の職員が参加しました。



【日本政策金融公庫の職員向け事業承継勉強会で講師を務める大阪府事業承継・引継ぎ支援センター植村亮祐サブマネージャー（写真上/左写真：左から1人目）】

●勉強会に参加する職員に対してどのようなことを期待されていますか。

○専門的な知識を必要とする分野では当庫単独で課題解決できるという認識を持つのではなく、積極的に外部の支援機関と連携し、そこへのつなぎ役を担ってほしいと考えています。

●勉強会に参加した職員の方のご意見をお教え下さい。

○融資審査の結果を出すだけでなく、今後、事業承継対策をすすめる必要があると思われるお客様には情報提供や外部専門家、支援機関への取り次ぎなどプラスアルファの取り組みができるように頑張っていきたいといった意見がありました。